記者発表資料

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

減災対策協議会
１０　周　年

令和７年１０月２日
北上川下流河川事務所

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨から１０年～あの災害を忘れないために～

関東・東北豪雨から１０年　パネル展を開催します。
～あの災害を忘れないために～

平成２７年９月の関東・東北豪雨から１０年を迎え、災害の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、当時の被災の様子やその後の河川整備の状況を紹介するパネル展を、大きな被害のあった大和町及び大衡村にて開催します。

１．開催場所・日時

① 大衡村役場　１階ロビー
令和 7 年 10 月 6 日（月）10:00　～　令和 7 年 10 月 10 日（金）16:00
※期間中の展示時間は開庁時間となります。

② 大和町役場　１階ロビー
令和 7 年 10 月 12 日（日）9:00　～　令和 7 年 10 月 17 日（金）16:00
※期間中の展示時間は開庁時間となります。
※10 月 12 日（日）は大和町防災訓練会場にて展示いたします。

３．展示内容

令和 27 年 9 月関東・東北豪雨の被害状況、その後の河川整備事業の紹介
※パネル７枚（別添参照）

４．その他

以下の時間帯において、担当者がパネル説明など対応いたします。
① 大衡村役場　10 月 10 日（金）13:00～16:00
② 大和町役場　10 月 17 日（金）13:00～16:00

記者発表先　：　石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
〒986-0861　石巻市蛇田字新下沼８０　TEL 0225-95-0194（代表）
技術副所長　間山（まやま）　隆之（たかゆき）（内線２０６）
防災情報課　建設専門官　及川（おいかわ）　加奈（かな）（内線５０５）

別添

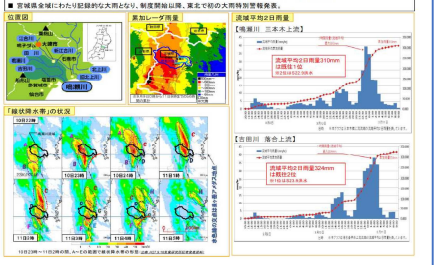
減災対策協議会
１０　周　年

関東・東北豪雨から10年　パネル展

～平成27年9月　あの災害を忘れないために～

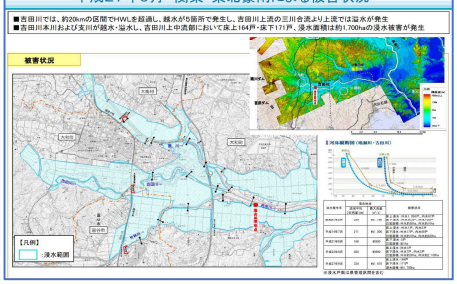
平成27年9月　関東・東北豪雨の概要

国土交通省



平成27年9月　関東・東北豪雨による被害状況

国土交通省



平成27年9月　関東・東北豪雨による浸水状況

国土交通省



吉田川床上浸水対策特別緊急事業の概要

国土交通省



1.R4の取り組み状況
吉田川床上浸水対策特別緊急事業　竹林川遊水地の運用説明会(R5.3.8～3.9)

国土交通省

・竹林川遊水地の越流堤完成を受け、7月1日より遊水地の運用を開始することから地元説明会を開催。
・第一部では、現地にて完成した越流堤をご覧頂き、施設の説明等を行った。
・第二部では、詳細に遊水地の運用について説明を行い、地元住民の理解を深めた。



1.R4の取り組み状況
吉田川床上浸水対策特別緊急事業　善川遊水地の運用説明会(R5.3.8～3.9)

国土交通省

・令和5年4月1日より善川遊水地の運用を開始することから地元説明会を開催。
・説明会では、ゲートの開閉タイミングや警報音を視聴する等、詳細な運用方法について説明を行い、地元住民の理解を深めた。
・質疑応答では、水位データの閲覧方法の確認や整備前後で浸水状況がどのように変化するのかといった質問があった。
・運用説明会前の2月21日には、希望者を対象に、現地にて越流堤をご覧頂き、施設の説明等を行った。



吉田川河道掘削・築堤　完成状況

国土交通省



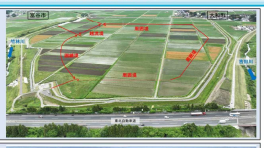
吉田川床上浸水対策特別緊急事業　遊水地完成状況

国土交通省

竹林川遊水地

・令和4年6月末　完成
・令和4年7月　運用開始

【遊水地諸元】
・湛水面積　A≒60ha
・湛水容量　V≒62万㎥
※小学校プール：約1,29U杯分
(25m×16m×1.2m)



善川遊水地

・令和5年3月末　完成
・令和5年4月　運用開始

【遊水地諸元】
・湛水面積　A≒56ha
・湛水容量　V≒195万㎥
※小学校プール：約4,060杯分
(25m×16m×1.2m)



（吉田川流域・高城川流域）流域治水の取り組み

国土交通省

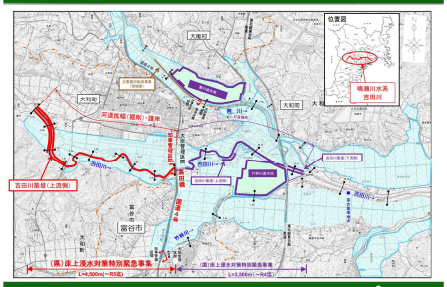


吉田川・高城川で目指す「流域治水」の姿



吉田川床上浸水対策特別緊急事業概要【県施行分】

宮城県



吉田川床上浸水対策特別緊急事業概要【県施行分】

宮城県

事業概要



○事業内容　：事業延長4,500m、河道掘削45.6万m3、護岸5.2万m2、排水樋管4基、橋梁1基(大和町共同施行)
○全体事業費：約71億円　○事業期間　：平成29年度～令和5年度

浸水被害の状況（国土交通省提供）

宮城県

国土交通省東北地方整備局　撮影（平成27年9月11日 11時頃撮影）



施設被害の状況

宮城県

